

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表  
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満  
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧  
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 湘南学園中学校高等学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

住所 〒 251-8505  
神奈川県藤沢市鵜沼松が岡4-1-32

E-mail : yoshikawa@shogak.ac.jp

Website : http://www.shogak.ac.jp/highschool/

児童生徒数：男子 589名 女子 549名 合計 1138名  
 児童・生徒の年齢 12歳～18歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

## 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

### <総合学習>

- ・中1 学年テーマを「みんな輝く」とし、ハンディキャップの疑似体験等を行うことにより、自分も他者も、かけがえのない大切な存在であることを認識した。
- ・中2 学年テーマを「みんな輝く湘南藤沢～地域の人々と繋がる～」とし、クラスごとに、ビーチクリーン・農業体験・まちあるき等の活動をし、地域における様々な生き方や協力・協働のあり方等にふれた。
- ・中3 学年テーマを「首都東京の光と影を調査して『住みやすい街』について考えよう!」とし、班単位で東京フィールドワークをし、大都市の多面性を知ると共に、社会に対する視野をひろげた。
- ・高1 学年テーマを「Stop! Survival GAME!!」とし、現代社会の抱える諸問題を「基本的人権」を柱として見つめ直した。班単位で公共機関やNPO等を訪問したり、アンケートをもとに考察をするなどして理解を深め、各分野ごとに交流を行った。
- ・高2 学年テーマを「私たちが望む未来(The Future We want)～人間の幸福 それは持続可能か～」とし、班単位で公共機関やNPO等を訪問し、MDGsを中心にして地球規模課題についての理解を深めた。そのうえで、学年発表会を行い、問題解決の方向性について考えた。
- ・高3 学年テーマを「自分が望む未来に近づくために、社会や生活を支えている方々の生き方に触れてみよう」とし、社会の第一線で活躍されている方々をお迎えして座談会を行い、広く社会に貢献できる人間性を培った。

### <国際理解>

- ・オーストラリア・カナダ・イングランドへのツアー(希望制)を実施した。
- ・オーストラリアの姉妹校から、教員・生徒のツアー訪問を受け入れた。一方、同校に3名の中期留学生を派遣した。
- ・大学公認サークルと協働し、「ポーランド(アウシュビッツ)・リトアニア ヒストリーツアー」(希望制)を開始した。
- ・藤沢市の姉妹都市である、中国雲南省昆明市の日本語を学ぶ大学生をお招きして交流した。
- ・ロータリークラブの交換留学制度を利用して、高校1年生1名を1年間のブラジル留学に派遣した。一方、ブラジルからの留学生1名の1年間受け入れを開始した。
- ・インターアクトクラブ主催による台湾研修旅行に代表生徒2名が参加した。
- ・カナダツアーで関係を持ったカナダ人家族の来日を受け、校内での交流を行った。

### <食育>

- ・「カフェテリア」(学食)を拠点に、「地産地消」などを意識した食育活動を推進した。

<ESDカフェ>

- ・2014年2月、「バレンタインデー」に絡め、児童労働やフェアトレード等について理解を深める学習を、有志生徒を集めて実施した。
- ・中東情勢などを鑑み、有志の生徒・保護者・教員を対象とした学習講演会「いま、紛争地と貧困をみつめる～私たちにできること 考えるべきこと～」を開催した。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）